

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|---------------|---|
| (整理番号) 067 | 提案機関名 森林再生課 |
| 要望問題名 | 森林DXの推進に向けた取組 |
| 要望問題の内容 | 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 森林林業分野においては、近年、ICT等を活用した様々な機器や情報基盤システムが導入され始めているところだが、本県においては、現在、各所属が独自の取組を単発的に行っている状態である。 今後、これらを活用し森林DXにつなげていくためには、最新情報の収集や、その導入に向けた実践的な活用の検討を総合的に行い、全県で共通認識をもって取組んでいく体制を作る必要がある。 そこで、主に以下のような内容について、最新情報の収集・共有や、県庁及び出先機関の実務担当者を対象とした実践研修の実施など、森林DXの推進に向けた取組をお願いしたい。 【例】 ・ 災害情報等の情報共有について （情報共有プラットフォームの構築・運用や共有する情報の統一等） ・ GISの活用方法について （属性データの整理や他アプリとの連携等） ・ ドローンの業務への活用について （災害調査や測量への活用、操縦者育成、飛行許可・承認手続きの法令関係等） |
| 解決希望年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

| | | | |
|---------|---|------|-------|
| 回答機関名 | 自然環境保全センター | 担当部所 | 研究企画部 |
| 対応区分 | ①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) | | |
| 対応の内容等 | 当課には現在森林DXの専門家はおりません。当課においても現地調査や解析で森林DXを活用することは大きな課題です。そこで、森林DXの利活用のあり方について検討すべく、貴課と協議したいと考えております。 | | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |